

【共同研究】

「自信」について (Ⅱ)

— 文教大学越谷キャンパス学生を中心に —

上杉 喬・鈴木賢男

Concerning “Self-Confidence” Ⅱ

— Centering on the Bunkyo University

Students of Koshigaya Campus —

Takasi, Uesugi, Takao Suzuki

はじめに

本研究は、「自信イメージ」に関する調査の第Ⅱ報である。

一般に人は、「自信」をもって事態に立ち向かう場合には、その「自信」に支えられて、いろいろと工夫もし、ねばり強くチャレンジすることにより成功を得て、さらに「自信」を強めることが多いが、反対に「自信」を持っていない場合には、普段なら楽にこなすことができることでも失敗し、より一層「自信」を失くし、時には「自分はダメだ」など、自信喪失の状態になることさえある。

このような場合、「自信」は自己イメージ（自己像）としての「自信イメージ」であり、自己についての「感情イメージとしての自信イメージ」（すなわち、自己の能力や価値の有無・強弱についての感情イメージ）であるが、この自己イメージとしての「自信イメージ」は、過去から現在にいたる日常体験を通して形成した具体的な諸事象（ex. 大学の成績、リーダーシップ、etc）に関する「自信イメージ」があって、それに支えられているも

のと考えることができる。

第Ⅰ報（上杉，1990）では、全体としての自己に対する「自信イメージ」（以降、「自己自信イメージ」）を、具体的諸事象134に対する「自信イメージ」（以降、「事象自信イメージ」）の評定の前と後の2回実施するようにして、質問紙調査法の変形としてコンピュータ・ディスプレイに表示し、「1. かなり、自信がある」から「5. ほとんど、自信がない」の5段階評定を被験者に求めた。その結果、①「自己自信イメージ」が、「事象自信イメージ」に支えられている可能性の高いこと、②「自己自信イメージ」を支える「事象自信イメージ」には、中核となる事象と、そうでない事象があること、を示すことができた。

本研究（第Ⅱ報）の課題は、まず第1に、第Ⅰ報で見られた「自己自信イメージ」の中核的事象が、同じ文教大学生の別の被験者にも見られるかどうかを確認することである。また、第Ⅰ報では、「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」との関連（相関）から、「事象自信イメージ」の構造を明らかにしよ

うとしたが、明確にすることができなかった。本研究の課題の第2は、この「事象自信イメージ」の構造を検討することである。

研究方法

1. 質問紙調査表

本研究では、第I報のコンピュータ・ディスプレイ表示による調査にかわって、質問紙調査表を使用した。調査項目は、第I報の「事象自信イメージ」項目134のうちで、例えば「自分の過去」とか「自分の才能」などのような、かなり全体としての自己イメージを問うものを除き、さらに「カラオケ」や「パソコンゲーム」など、それに「自信」を持ったとしても、意味的に「自己自信イメージ」を支えるものとしては、あまりにも瑣末と考えられるものを除いて、要素的ではあるが、意味的に重要と考えられるもの76項目と、「自己自信イメージ」としての「あなた自身」の1項目、計77項目とした。質問・評定の順序は、第I部「事象自信イメージ」76項目、つづいて第II部「あなた自身」とした。なお、第I部と第II部は、別ページとした。「自己自信イメージ」としての「あなた自身」を、「事象自信イメージ」の後にしたのは、第I報の結果から、具体的な諸事象に関する「自己自信イメージ」を考えた後での「自己自信イメージ」の方が、自覚的なイメージと考えられるからである。

各項目に対する5段階評定は、いずれも、

1. かなり、自信がある
2. まあまあ、自信がある
3. 自信があるともないとも言いにくい
4. あまり、自信がない
5. ほとんど、自信がない

であり、「自己自信イメージ」としては、「あなた自身、どの程度自信があると言えるかを次の5つの中から最も当てはまるところを1つ選んで○印をつけて下さい。」とするものであった。

「事象自信イメージ」の76項目は、大別して、

- 1) 身体・外見に関連 8項目
- 2) 服装のセンスに関連 1項目
- 3) 健康・体力に関連 7項目
- 4) 知識に関連 4項目
- 5) 学業成績に関連 3項目
- 6) 運動技能に関連 2項目
- 7) 過去及び背景に関連 4項目
- 8) 信念・生き方に関連 6項目
- 9) 現実の対人関係に関連 8項目
- 10) 対人関係技術・能力に関連 9項目
- 11) 知的能力に関連 4項目
- 12) 知的特性に関連 3項目
- 13) 情緒的特性に関連 4項目
- 14) 意志的特性に関連 13項目

であった。

2. 調査対象者

文教大学越谷キャンパス学生、男子学生67名、女子学生138名、計205名であった。対象者の年齢別分布は、表1の通りであった（平均年齢19.70歳、男子20.41歳、女子19.35歳）。

表1 調査対象者年齢別構成

	18 歳	19 歳	20 歳	21 歳	22 歳 24	無 回 答	合 計
男	12	14	9	8	23	1	67
女	32	57	27	12	9	1	138
計	44	71	36	20	32	2	205

3. 実施年月

1991年10月、文教大学越谷キャンパス内において質問紙を配布、その場で対象者に記入してもらい回収した。

結 果

1. 諸事象76に対する「自己自信イメージ」

表2は、「自己自信イメージ」評定の

- 「1. かなり、自信がある」を+2
- 「2. まあまあ、自信がある」を+1
- 「3. 自信が、あるともないとも言いにくい」を0
- 「4. あまり、自信がない」を-1、
- 「5. ほとんど、自信がない」を-2、

として項目毎に平均値を算出したものである。

§1.1 多くの学生が「自信ある」事象

表2の平均値で見て、0.50以上は「まあまあ、自信がある(+1)」により近い事象であると考えられ、多くの学生にとって「自信がある」事象と見ることができる。

今回の結果は、全体(男女計)では、10事象が「自信ある」に該当した。

1位	「食欲(食べること)」	(0.89)
2位	「約束を守る」	(0.85)
3位	「友人に恵まれている」	(0.82)
4位	「母との関係」	(0.74)
5位	「授業の出席率」	(0.65)
6位	「負けず嫌い」	(0.62)
7位	「責任感」	(0.54)
8位	「欠点の自覚」	(0.54)
9位	「時間を守る」	(0.53)
10位	「健康」	(0.50)

であった。

この「自信ある」事象を男女別に見ると、男子では「自信ある」は11事象、女子では10事象で、具体的には、男子・女子ともに「自信ある」事象は、

「食欲」	男0.90, 女0.89
「約束を守る」	0.92, 0.91
「友人に恵まれている」	0.64, 0.82
「母との関係」	0.58, 0.82
「負けず嫌い」	0.54, 0.66
「責任感」	0.58, 0.52

の6事項であり、男子が「自信ある」(0.50以上)は、

「自分の信念」	男0.64, 女0.28
「自分の考え方」	0.61, 0.41
「やさしさ」	0.61, 0.02
「時間を守る」	0.60, 0.49
「素直さ」	0.52, 0.23

の5事象、反対に、女子が「自信ある」(0.50以上)は、

「授業の出席率」	男0.46, 女0.74
「欠点の自覚」	0.42, 0.59
「すぐ眠れる」	0.21, 0.51
「健康」	0.49, 0.50

の4事象であった。尚、「健康」は、男女ともに「自信ある」事象に入れてもよい。

これを前回調査(第I報)と比較すると、表2から、「自信がある」(0.50以上)は、全体では18事象、男子では25事象、女子では17事象であり、今回の調査結果が、前回に比べ、「自信ある」事象が少なく、約半分となっていることが分かる。また、前回結果で男女ともに「自信ある」事象は、「顔」「スタイル」「体力」「高校の成績」「自分の家系」「自分の信念」「先生に恵まれている」「人を説得する」「理解力」「表現力」「向上心」「粘り強さ」「決断力」「責任感」の14事象であるが、今回結果と一致するものは「責任感(前回:男0.52,女0.54,今回:男0.58,女0.52)」の1事象だけであった。

§1.2 多くの学生が「自信ない」事象

表2の平均値で見て、-0.50以下は「あまり、自信がない(-1)」により近いという意味で、「自信ない」事象と考えられる。

今回の結果でこれに該当するものは、全体(男女計)では、9事象であった。具体的には、「自信ない」の

1位	「英語(話す)」	-1.20
2位	「異性にもてる」	-0.96
3位	「スタイル」	-0.93
4位	「後ろ姿」	-0.82
5位	「顔」	-0.71
6位	「専門の知識」	-0.68
7位	「鼻」	-0.56
8位	「リーダーシップ」	-0.53
9位	「胸(バスト)」	-0.50

この「自信ない」は、男女別に見ると、男子では「自信ない」は6事象、女子では10事象で、具体的には男子・女子ともに「自信ない」事象は、

「英語(話す)」	男-1.12, 女-1.23
「異性にもてる」	-0.85, -1.01
「スタイル」	-0.49, -1.14
「後ろ姿」	-0.94, -0.76
「顔」	-0.66, -0.74

の5事象で、男子が「自信ない」事象は、服

表2 諸対象76に対する「自信イメージ」の平均値

【今回調査】				【前回調査】			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性
【身体・外見】				【身体・外見】			
1. 鼻	-0.56	-0.33	-0.68**	1. 鼻	0.64	0.94	0.45*
2. 口	-0.34	-0.33	-0.34	2. 口	-0.20	0.00	-0.33
3. 顔	-0.71	-0.66	-0.74	3. 顔	0.55	0.58	0.53
4. 胸 (バスト)	-0.50	0.03	-0.74***	4. 胸 (バスト)	0.33	0.22	0.40
5. スタイル	-0.93	-0.49	-1.14***	5. スタイル	0.86	0.98	0.79
6. 身長	-0.21	-0.34	-0.15	6. 身長	0.35	0.50	0.26
7. 後ろ姿	-0.82	-0.94	-0.76	7. 後ろ姿	-0.16	-0.22	-0.13
8. 自分の肌	-0.39	-0.21	-0.48	8. 自分の肌	0.20	0.16	0.23
【感性 (センス)】				【感性 (センス)】			
9. 服装のセンス	-0.46	-0.57	-0.40	9. 服装のセンス	0.49	0.66	0.38
【健康・体力】				【健康・体力】			
10. すぐ眠れる	0.42	0.21	0.51	10. すぐ眠れる	0.19	0.14	0.21
11. どこでも眠れる	0.39	0.18	0.49	11. どこでも眠れる	0.42	0.54	0.34
12. 徹夜で仕事 (勉強)	-0.13	-0.09	-0.15	12. 徹夜で仕事 (勉強)	-0.06	0.20	-0.23*
13. 酒を飲む	-0.32	-0.38	-0.29	13. 酒を飲む	-0.01	0.04	-0.04
14. 食欲 (食べること)	0.89	0.90	0.89	14. 食欲 (食べること)	0.18	0.36	0.06
15. 健康	0.50	0.49	0.50	15. 健康	0.88	0.48	1.13***
16. 体力	0.03	0.30	-0.10*	16. 体力	0.76	0.58	0.88
【知識】				【知識】			
17. 専門の知識	-0.68	-0.19	-0.92***	17. 専門の知識	0.65	0.22	0.91**
18. 教養的知識	-0.29	-0.09	-0.39*	18. 教養的知識	-0.37	0.08	-0.65***
19. 英語 (話すこと)	-1.20	-1.12	-1.23	19. 英語 (話す)	0.29	0.46	0.19
20. 好きなスポーツの知識	0.01	0.46	-0.21***	20. 好きなスポーツの知識	0.10	0.34	-0.05*
【学業成績】				【学業成績】			
21. 高校の成績	-0.09	-0.37	0.05*	21. 高校の成績	1.26	1.30	1.24
22. 大学の成績	-0.38	-0.31	-0.41	22. 大学の成績	-0.04	-0.02	-0.05
23. 授業の出席率	0.65	0.46	0.74	23. 授業の出席率	0.16	0.32	0.06
【特技・才能】				【特技・才能】			
24. 得意なスポーツ	-0.14	0.30	-0.35***	24. 得意なスポーツ	0.06	0.24	-0.05
25. 運動神経	-0.31	0.13	-0.53***	25. 運動神経	0.70	1.02	0.50**
【過去・背景】				【過去・背景】			
26. 小学校時代の自分	-0.11	-0.05	-0.15	26. 小学校時代の自分	-0.24	0.08	-0.44**
27. 中学校時代の自分	0.07	0.09	0.06	27. 中学校時代の自分	0.30	0.76	0.01**
28. 高校時代の自分	0.03	-0.13	0.12	28. 高校時代の自分	0.15	0.10	0.19
29. 文教大に来たこと	0.14	0.19	0.12	29. 文教大に来たこと	-0.12	-0.32	0.01
30. 自分の家系	0.16	0.10	0.19	30. 自分の家系	0.65	0.76	0.58
【信念・生き方】				【信念・生き方】			
31. 失敗を恐れない	-0.16	0.12	-0.30*	31. 失敗を恐れない	0.38	0.38	0.38
32. 嫌なことはイヤと言える	0.07	0.28	-0.04	32. 嫌なことは厭と言える	-1.31	-0.98	-1.51**
33. 運の良さ	0.10	-0.05	0.17	33. 運の良さ (強さ)	0.45	0.66	0.33
34. 自分の考え方	0.48	0.61	0.41	34. 自分の考え方	0.24	0.78	-0.10***
35. 自分の信念	0.40	0.64	0.28*	35. 自分の信念	0.71	0.66	0.74

「自信」について (II)

【対人関係】

36. 父との関係	0.27	0.22	0.30
37. 母との関係	0.74	0.58	0.82
38. 兄弟(姉妹)の仲の良さ	0.45	0.39	0.47
39. 人に好かれる	-0.05	0.00	-0.07
40. 異性にもてる	-0.96	-0.85	-1.01
41. 人に与える印象	-0.17	-0.06	-0.22
42. 友人に恵まれている	0.82	0.64	0.91
43. 先生に恵まれている	0.25	0.18	0.28

【対人間関係能力】

44. リーダーシップ	-0.53	-0.34	-0.62
45. 人前で話す	-0.46	-0.37	-0.51
46. 人を説得する	-0.32	-0.19	-0.38
47. 人と打ち解ける	0.18	0.27	0.14
48. 人付き合いの良さ	0.13	0.22	0.09
49. 人の気持ちの理解	0.21	0.32	0.15
50. 人への思いやり	0.25	0.42	0.17
51. 優しさ	0.22	0.61	0.02***
52. 感情表現	0.08	0.25	-0.01

【知的能力】

53. 正しい理解	0.32	0.49	0.24*
54. 的確な判断	-0.12	0.08	-0.21*
55. 表現力	-0.05	0.05	-0.10
56. 論理的な考え方	-0.19	0.15	-0.36**

【知的特性】

57. 研究心・探求心	0.15	0.49	-0.02***
58. 向上心	0.31	0.42	0.25
59. 勉学心	-0.26	-0.27	-0.26

【情緒的特性】

60. 素直さ	0.33	0.52	0.23
61. 立ち直りの早さ	0.15	0.24	0.10
62. 適応力の高さ	0.29	0.42	0.23
63. 楽天的	0.41	0.43	0.39

【意志的特性】

64. 集中力	-0.09	-0.10	-0.09
65. 忍耐力	0.23	0.36	0.17
66. 粘り強さ	0.10	0.31	-0.01
67. 行動力	-0.10	-0.05	-0.13
68. 決断が早い	-0.32	-0.18	-0.38
69. 努力	-0.06	0.00	-0.09
70. 欠点の自覚	0.54	0.42	0.59
71. 積極性	-0.25	-0.13	-0.30
72. 責任感	0.54	0.58	0.52
73. 時間を守る	0.53	0.60	0.49
74. 約束を守る	0.85	0.93	0.82
75. 負けず嫌い	0.62	0.54	0.66
76. 意志の強さ	0.10	0.14	0.08

【対人関係】

36. 父との関係	-0.62	-1.20	-0.25***
37. 母との関係	0.12	0.28	0.03
38. 兄弟(姉妹)の仲の良さ	0.47	0.68	0.34
39. 人に好かれる	-0.25	0.14	-0.49**
40. 異性にもてる	-0.15	-0.50	0.08**
41. 人に与える印象	0.43	0.74	0.24*
42. 友人に恵まれている	-0.79	-0.50	-0.96**
43. 先生に恵まれている	1.00	0.98	1.01

【対人間関係能力】

44. リーダーシップ	-0.69	-0.58	-0.76
45. 人前で話す	0.05	0.10	0.01
46. 人を説得する	0.89	0.66	1.04
47. 人と打ち解ける	-1.10	-0.82	-1.28*
48. 人付き合いの良さ	0.26	0.20	0.30
49. 人の気持ちの理解	0.58	0.88	0.39**
50. 人への思いやり	-1.09	-0.86	-1.23*
51. やさしさ	0.41	0.38	0.43
52. 感情表現	-0.66	-0.34	-0.86*

【知的能力】

53. 理解力	0.79	0.82	0.78
54. 判断力	0.49	1.00	0.18***
55. 表現力	0.67	0.86	0.55
56. 論理性	0.49	0.42	0.53

【知的特性】

57. 研究心・探求心	0.27	0.18	0.33
58. 向上心	0.64	0.70	0.60
59. 勉学心	-0.71	-0.50	-0.84

【情緒的特性】

60. 素直さ	0.42	0.50	0.36
61. 立ち直りの早さ	-0.01	-0.02	-0.00
62. 適応力の高さ	-0.40	-0.22	-0.51
63. 楽天的	0.32	0.28	0.34

【意志的特性】

64. 集中力	0.01	0.06	-0.03
65. 忍耐力	-0.39	-0.48	-0.34
66. 粘り強さ	0.77	0.64	0.85
67. 行動力	-0.15	-0.32	-0.04
68. 決断が早い	1.09	1.20	1.01
69. 努力	0.30	0.20	0.36
70. 欠点の自覚	0.21	0.24	0.19
71. 積極性	0.43	0.44	0.43
72. 責任感	0.53	0.52	0.54
73. 時間を守る	-0.51	-0.34	-0.61
74. 約束を守る	0.19	0.08	0.25
75. 負けず嫌い	0.11	0.08	0.13
76. 意志の強さ	0.21	0.38	0.10

(注) 男女差の有意水準 * 5%水準 ** 1%水準 *** 0.1%水準

装のセンス」(男-0.57, 女-0.40)の1事象, 女子は

「鼻」	男-0.33, 女-0.68
「胸(バスト)」	0.03, -0.74
「専門の知識」	-0.19, -0.92
「運動神経」	0.13, -0.53
「リーダーシップ」	-0.34, -0.62

の5事象であった。

これを前回調査結果(第I報)で見ると、「自信ない」(-0.50以下)は、全体では9事象, 男子では8事象, 女子では10事象で、「自信ない」事象の数は、今回と前回に大きな差のない結果であった。

前回結果で、男女ともに「自信ない」事象は、具体的には「着こなしのセンス」「嫌なことはイヤと言える」「友人に恵まれている」「リーダーシップ」「人と打ち解ける」「人への思いやり」「勉強心」の7事象であるが、今回結果と一致するものはなく、前回結果で「自信ない」事象の「友人に恵まれている」は今回結果ではむしろ「自信ある」事象となっていた。

§1.3 諸事象に対する「自信イメージ」の男女差

表2に、男子学生と女子学生の平均値の差が5%水準以上で有意なものが示されているが(水準についてはアスタリスク(*)の数で示している)、差が認められるものが17項目あり、その内、男子学生の方が「より自信ある」ものは16項目。具体的には

「鼻」	男-0.33, 女-0.68
「胸(バスト)」	0.03, -0.74
「スタイル」	-0.49, -1.14
「体力」	0.30, -0.10
「専門の知識」	-0.19, -0.92
「教養的知識」	-0.09, -0.39
「好きなスポーツの知識」	0.46, -0.21
「得意なスポーツ」	0.30, -0.35
「運動神経」	0.13, -0.53
「失敗を恐れない」	0.12, -0.30
「自分の信念」	0.64, 0.28
「優しさ」	0.61, 0.02

「正しい理解」	0.49, 0.24
「的確な判断」	0.08, -0.21
「論理的な考え方」	0.15, -0.36
「研究心・探求心」	0.49, -0.02

であり、また、女子学生の方が「自信ある」ものは1項目であった(「高校の成績(男性-0.37, 女性0.05)」)。

この男女の差を前回調査で見ると、5%水準で、有意な差のある事象は21事象で、その内、男子学生の方が「より自信ある」とする事象が17、反対に女子学生の方が「より自信ある」が4であった。具体的には、男子学生が「より自信ある」とする事象は、「鼻」「徹夜で仕事」「教養的知識」「好きなスポーツの知識」「運動神経」「小学校時代の自分」「中学校時代の自分」「嫌なことはイヤと言える」「自分の考え方」「人に好かれる」「人に与える印象」「先生に恵まれている」「人と打ち解ける」「人の気持ちの理解」「人への思いやり」「感情表現」「判断力」で、このうち「鼻」「教養的知識」「好きなスポーツの知識」「運動神経」は今回調査と同じ事象であった。また、女子学生が「より自信ある」とする事象は「健康」「専門の知識」「父との関係」「異性にもてる」で、今回調査とは一致する事象はなかった。

2. 全体としての自己に対する「自信イメージ」

第II部での質問『全体として考えてみて、「あなた自身」はどの程度の自信をお持ちになっていますか』に対する、全体(男女計)の結果は、

1. かなり、自信がある(9名, 4.5%)
2. まあまあ、自信がある(58名, 29.1%)
3. 自信があるともないとも言いにくい(64名, 32.2%)
4. あまり、自信がない(54名, 27.1%)
5. ほとんど、自信がない(14名, 7.0%)

であった。「自信ある」とする者が、1と2をあわせて67名(33.6%)、「自信ない」が4と5をあわせて68名(34.1%)であった。

これを、「かなり、自信がある」を+2, 「まあまあ、自信がある」を+1, 「自信があるともないとも言いにくい」を0, 「あまり自信がない」を-1, 「ほとんど自信がない」を-2として数量化し、平均値と標準偏差を算出した。全体(男女計)は-0.03 (SD=1.02), 男子では0.23 (SD=1.17), 女子は-0.17 (SD=0.91)であった。t検定の結果は、男女の平均値の差は5%水準で有意(両側検定, $t=2.57$, $p=0.011$)であった。

この結果は、前回(第I報)と一致するもので、「自己自信イメージ」は、男子の方が女子に比べて有意に「自信ある」とする傾向が強いことを示した。

3. 「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」との相関関係

第I報(前回調査)では、「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」の間に“かなり高い相関”を示す $r=0.40$ 以上の事象は、全体(男女計)では24事象であった。

表3は、今回調査での相関を示すものであるが、 $r=0.40$ 以上の事象は、全体(男女計)では、9事象であった。

また、男子について見ると、前回調査では“かなり高い相関($r=0.40$ 以上)”は22事象であったが、今回調査は16事象あり、これを女子で見ると、前回では27事象に対し、今回は9事象であった。

このうち、前回と今回の両方で“かなり高い相関”を示すものは、全体では「顔」(前回0.41, 今回0.44), 「身長」(0.69, 0.44), 「自分の信念」(0.40, 0.39), 「人に与える印象」(0.40, 0.41)の4事象(9事象の44.4%), また、男子では「顔」(0.41, 0.44), 「身長」(0.62, 0.47), 「酒を飲む」(0.51, 0.40), 「リーダーシップ」(0.48, 0.44), 「適応力の高さ」(0.44, 0.44), 「積極性」(0.41, 0.47), 「負けず嫌い」(0.57, 0.41)の7事象(16事象の43.8%), 女子では「自分の信念」(0.48, 0.52), 「人に与える印象」(0.47, 0.43)の2事象(9事象の22.2%)であった。

この一致した事象を、前回の“かなり高い

相関”を示した事象と比較すると、全体では24事象の16.7%, 男子では22事象の31.8%, 女子では27事象の7.4%であった。

4. 「事象自信イメージ」の因子分析

「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」の間に、全体(男女計)で、 $r=0.30$ 以上(有意水準0.1%)の相関を示すものは、32事象であったが、そのうちで「2. 口」($r=0.38$)は、対象者の反応から『口=しゃべる』ととらえた者が多いようなので除き、31事象について、男女別に因子分析を行い、固有値=1.00を基準とする回転バリマックス解を求めた。結果は、表4に抽出された各因子の因子負荷量をもって示す通りであるが、因子構造は、男子のF1が女子ではF2とF4に分かれ、男子のF5とF7が合わさって女子ではF3を構成するという違いは見られるが、全体として、男子および女子の因子構造は、基本的に同じと考えることができるものであった。

なお、表4には、各因子の合成得点(各因子を構成する諸事象に対する「自信イメージ」の合計点)による、各因子と「自己自信イメージ」との相関係数を算出し示した。

この結果から、「自己自信イメージ」との相関で $r=0.50$ 以上を示すものは、男子では第1因子(.553)及び第3因子(.513), 女子では第2因子(.553), 第1因子(.509)及び第5因子(.504)であり、第6因子では男子(.470)に比べて女子(.290)がかなり低く、また、第7因子では、男子(.241)が女子(.376)に比べ相対的に低くなっていた。

考 察

1. 「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」

今回の調査結果と、前回の結果を、「自己自信イメージ」の平均的レベルについて見ると、全体(男女計)では「自信ある」とする者が、前回が50%に対し今回は33.6%, 「自信ない」とする者は、前回39.3%で今回34.1%で、明らかに前回の方が今回に比べ、「自

表3 「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」との相関

〔今回調査〕

	全体	男性	女性
【身体・外見】			
1. 鼻	0.12	0.05	0.10
2. 口	0.38***	0.53***	0.27**
3. 顔	0.44***	0.44***	0.44***
4. 胸 (バスト)	0.24***	0.27*	0.15*
5. スタイル	0.44***	0.47***	0.37***
6. 身長	0.15*	0.23*	0.13
7. 後ろ姿	0.27***	0.37**	0.26**
8. 自分の肌	0.25***	0.11	0.31***
【感性 (センス)】			
9. 服装のセンス	0.26***	0.25*	0.31***
【健康・体力】			
10. すぐ眠れる	-0.01	0.05	-0.02
11. どこでも眠れる	0.04	0.13	0.01
12. 徹夜で仕事 (勉強)	0.13*	0.19	0.09
13. 酒を飲む	0.20**	0.40**	0.10
14. 食欲 (食べること)	0.04	0.08	0.02
15. 健康	0.01	-0.02	0.02
16. 体力	0.33***	0.31**	0.32***
【知識】			
17. 専門の知識	0.36***	0.42***	0.25**
18. 教養的知識	0.31***	0.38**	0.24**
19. 英語 (話すこと)	0.14*	0.05	0.18*
20. 好きなスポーツの知識	0.19**	0.25*	0.08
【学業成績】			
21. 高校の成績	0.20**	0.13	0.29***
22. 大学の成績	0.18**	0.10	0.23**
23. 授業の出席率	-0.03	-0.10	0.05
【特技・才能】			
24. 得意なスポーツ	0.32***	0.27*	0.31***
25. 運動神経	0.38***	0.35**	0.36***
【過去・背景】			
26. 小学校時代の自分	0.17**	0.28*	0.08
27. 中学校時代の自分	0.13*	0.02	0.21**
28. 高校時代の自分	0.25***	0.26*	0.29***
29. 文教大に来たこと	0.17**	0.16	0.17*
30. 自分の家系	0.24***	0.21*	0.28***
【信念・生き方】			
31. 失敗を恐れない	0.37***	0.36**	0.34***
32. 嫌なことはイヤと言える	0.30***	0.26*	0.30***
33. 運の良さ	0.28***	0.28*	0.33***
34. 自分の考え方	0.49***	0.43***	0.52***
35. 自分の信念	0.39***	0.26*	0.45***

〔前回調査〕

	全体	男性	女性
【身体・外見】			
1. 鼻	0.36**	0.16	0.42**
2. 口	0.35**	0.30	0.36**
3. 顔	0.41**	0.57**	0.31*
4. 胸 (バスト)	0.27**	0.03	0.49**
5. スタイル	0.28**	0.24	0.29*
6. 身長	0.69**	0.62**	0.73**
7. 後ろ姿	0.46**	0.29	0.62**
8. 自分の肌	0.30**	0.16	0.43**
【感性 (センス)】			
9. 服装のセンス	0.40**	0.30	0.45**
【健康・体力】			
10. すぐ眠れる	0.43**	0.54**	0.39**
11. どこでも眠れる	0.61**	0.80**	0.49**
12. 徹夜で仕事 (勉強)	0.70**	0.70**	0.68**
13. 酒を飲む	0.46**	0.51**	0.42**
14. 食欲 (食べること)	0.61**	0.58**	0.61**
15. 健康	0.15	0.03	0.40**
16. 体力	0.19	0.00	0.36**
【知識】			
17. 専門の知識	0.01	0.04	0.08
18. 教養的知識	0.36**	0.34*	0.31*
19. 英語 (話す)	0.34**	0.22	0.39**
20. 好きなスポーツの知識	0.45**	0.31	0.52**
【学業成績】			
21. 高校の成績	0.17	0.02	0.27*
22. 大学の成績	0.66**	0.62**	0.71**
23. 授業の出席率	0.37**	0.34*	0.38**
【特技・才能】			
24. 得意なスポーツ	0.30**	0.12	0.41**
25. 運動神経	0.53**	0.51**	0.51**
【過去・背景】			
26. 小学校時代の自分	0.31**	0.24	0.30*
27. 中学校時代の自分	0.37**	0.12	0.45**
28. 高校時代の自分	0.42**	0.38*	0.48**
29. 文教大に来たこと	0.22*	0.08	0.40**
30. 自分の家系	0.36**	0.28	0.40**
【信念・生き方】			
31. 失敗を恐れない	0.26*	0.08	0.39**
32. 嫌なことは厭と言える	-0.06	-0.06	-0.17
33. 運の良さ (強さ)	0.26*	0.30	0.20
34. 自分の考え方	0.26*	0.23	0.20
35. 自分の信念	0.40**	0.35*	0.48**

「自信」について (II)

【対人関係】

36. 父との関係	0.17**	0.35**	0.07
37. 母との関係	0.11	0.32**	0.02
38. 兄弟(姉妹)の仲の良さ	0.12*	0.12	0.14
39. 人に好かれる	0.36***	0.26*	0.42***
40. 異性にもてる	0.46***	0.46***	0.46***
41. 人に与える印象	0.41***	0.35**	0.43***
42. 友人に恵まれている	0.16*	0.15	0.22**
43. 先生に恵まれている	0.09	-0.19	0.27**

【対人間関係能力】

44. リーダーシップ	0.38***	0.44***	0.32***
45. 人前で話す	0.32***	0.40***	0.26**
46. 人を説得する	0.27***	0.29**	0.24**
47. 人と打ち解ける	0.36***	0.36**	0.35***
48. 人付き合いの良さ	0.30***	0.33**	0.27**
49. 人の気持ちの理解	0.23**	0.05	0.33***
50. 人への思いやり	0.31***	0.26*	0.31***
51. 優しさ	0.33***	0.16	0.37***
52. 感情表現	0.36***	0.46***	0.29***

【知的能力】

53. 正しい理解	0.46***	0.43***	0.46***
54. 的確な判断	0.31***	0.27*	0.31***
55. 表現力	0.39***	0.43***	0.34***
56. 論理的な考え方	0.27***	0.24*	0.24**

【知的特性】

57. 研究心・探求心	0.30***	0.14	0.35***
58. 向上心	0.41***	0.38**	0.43***
59. 勉学心	0.24***	0.33**	0.20*

【情緒的特性】

60. 素直さ	0.27***	0.26*	0.25**
61. 立ち直りの早さ	0.30***	0.29*	0.29***
62. 適応力の高さ	0.35***	0.44***	0.28**
63. 楽天的	0.22**	0.29*	0.17*

【意志的特性】

64. 集中力	0.21**	0.32**	0.16*
65. 忍耐力	0.08	0.05	0.07
66. 粘り強さ	0.17**	0.05	0.21**
67. 行動力	0.44***	0.48***	0.42***
68. 決断が早い	0.27***	0.19	0.31***
69. 努力	0.23***	0.25*	0.22**
70. 欠点の自覚	0.07	0.08	0.08
71. 積極性	0.48***	0.47***	0.48***
72. 責任感	0.23***	0.13	0.31***
73. 時間を守る	0.09	-0.01	0.14*
74. 約束を守る	0.11	0.04	0.15*
75. 負けず嫌い	0.35***	0.41***	0.33***
76. 意志の強さ	0.27***	0.16	0.34***

【対人関係】

36. 父との関係	-0.04	0.05	0.04
37. 母との関係	0.70**	0.69**	0.70**
38. 兄弟(姉妹)の仲の良さ	0.68**	0.66**	0.68**
39. 人に好かれる	0.22*	0.28	0.10
40. 異性にもてる	0.07	-0.04	0.24
41. 人に与える印象	0.40**	0.22	0.47**
42. 友人に恵まれている	0.25*	0.30	0.13
43. 先生に恵まれている	0.05	0.03	0.07

【対人間関係能力】

44. リーダーシップ	0.45**	0.48**	0.42**
45. 人前で話す	0.32**	0.34*	0.30*
46. 人を説得する	0.05	0.08	0.09
47. 人と打ち解ける	0.16	0.08	0.15
48. 人付き合いの良さ	0.18	0.00	0.30**
49. 人の気持ちの理解	0.33**	0.15	0.40**
50. 人への思いやり	0.14	0.01	0.17
51. やさしさ	0.43**	0.57**	0.36**
52. 感情表現	0.25*	0.16	0.25

【知的能力】

53. 理解力	-0.12	-0.23	-0.05
54. 判断力	0.21*	0.09	0.20
55. 表現力	0.27**	0.13	0.33*
56. 論理性	0.06	-0.07	0.17

【知的特性】

57. 研究心・探求心	0.30**	0.36*	0.29*
58. 向上心	0.37**	0.36*	0.38**
59. 勉学心	0.56**	0.58**	0.52**

【情緒的特性】

60. 素直さ	0.33**	0.23	0.38**
61. 立ち直りの早さ	0.48**	0.52**	0.47**
62. 適応力の高さ	0.33**	0.44**	0.23
63. 楽天的	0.45**	0.53**	0.41**

【意志的特性】

64. 集中力	0.19	0.16	0.22
65. 忍耐力	0.26*	0.28	0.28*
66. 粘り強さ	0.33**	0.32	0.39**
67. 行動力	0.32**	0.32	0.37**
68. 決断が早い	0.11	0.07	0.10
69. 努力	0.38**	0.44**	0.38**
70. 欠点の自覚	0.38**	0.44**	0.36**
71. 積極性	0.37**	0.41*	0.36**
72. 責任感	0.20	-0.03	0.37**
73. 時間を守る	0.40**	0.45**	0.35**
74. 約束を守る	0.32**	0.34*	0.34*
75. 負けず嫌い	0.41**	0.57**	0.33*
76. 意志の強さ	0.35**	0.23	0.41**

(注) 男女差の有意水準 * 5%水準 ** 1%水準 *** 0.1%水準

表4 事象自信イメージ(31)の因子構造と自己自信イメージとの相関

男 子				女 子			
因子	項 目	因 子 負荷量	自己自信 イメージ との相関	因子	項 目	因 子 負荷量	自己自信 イメージ との相関
F 1	41. 人に与える印象	0.52	.55	F 2	41. 人に与える印象	0.47	.51
	47. 人と打ち解ける	0.69			47. 人と打ち解ける	0.65	
	48. 人付き合いの良さ	0.46			48. 人付き合いの良さ	0.75	
	52. 感情表現	0.60			52. 感情表現	0.72	
	55. 表現力	0.65		F 4	44. リーダーシップ	0.75	
	44. リーダーシップ	0.74			45. 人前で話す	0.74	
	45. 人前で話す	0.82			62. 適応力の高さ	0.38	
	62. 適応力の高さ	0.42			67. 行動力	0.61	
67. 行動力	0.69	71. 積極性	0.48				
71. 積極性	0.70	F 1	32. 嫌なことはイヤと言える	0.71	.55		
F 2	32. 嫌なことはイヤと言える		0.47	34. 自分の考え方		0.69	
	34. 自分の考え方		0.48	35. 自分の信念		0.67	
	35. 自分の信念		0.58	57. 研究心・探求心		0.45	
	57. 研究心・探求心		0.64	58. 向上心		0.62	
	58. 向上心	0.78	75. 負けず嫌い	0.63			
75. 負けず嫌い	0.73	F 5	3. 顔	0.88	.49		
F 3	3. 顔		0.85	5. スタイル		0.80	
	5. スタイル		0.80	40. 異性にもてる		0.81	
	40. 異性にもてる	0.75	F 6	16. 体力	0.60	.39	
F 4	16. 体力	0.54		24. 得意なスポーツ	0.85		
	24. 得意なスポーツ	0.80		25. 運動神経	0.89		
	25. 運動神経	0.75	F 3	39. 人に好かれる	0.53	.50	
F 5	39. 人に好かれる	0.62		53. 正しい理解	0.56		
	53. 正しい理解	0.60		54. 的確な判断	0.56		
	54. 的確な判断	0.75		50. 人への思いやり	0.78		
	F 7	50. 人への思いやり	0.53	51. 優しさ	0.82	.38	
51. 優しさ		0.78	F 8	17. 専門の知識	0.66		.29
F 6	17. 専門の知識	0.72		18. 教養的知識	0.56		
	18. 教養的知識	0.72	F 7	31. 失敗を恐れない	0.57	.38	
F 8	31. 失敗を恐れない	0.49		61. 立ち直りの早さ	0.83		
	61. 立ち直りの早さ	0.80					

己自信イメージ」が高いものであった。この傾向は男子・女子ともに同じで、「自信ある」は男子(前回60.0%>今回46.9%)、女子(前回43.8%>今回27.4%)であった。

また、前回と今回の結果を、76の「事象自信イメージ」について見ると、多くの学生が「自信ある」事象は、全体では前回が18事象に対し、今回は10事象であった。この傾向は、男子・女子ともに同じで、男子(前回25事象>今回11事象)、女子(前回17事象>今回10事象)であった。これを、「自信ない」事象で見ると、全体・男子・女子のいずれも、前回と今回に差は見られなかった。

以上から言えることは、「事象自信イメージ」で「自信ある」事象が多い前回の方が、「自己自信イメージ」に「自信ある」とする

者が多いことであり、「事象自信イメージ」が全体として「自己自信イメージ」を支えているということである。

しかし、「事象自信イメージ」の中で多くの学生が「自信ある」とする事象に関し、前回と今回で一致していた事象は全体で見ると、「健康」「責任感」の2事象だけであり、また、男子では「自分の考え方」「自分の信念」「責任感」の3事象、女子では「健康」「責任感」の2事象にすぎず、前回と今回では、被験者の「自信」の内容に大きな違いのあることもまた示された。このことは、「自己自信イメージ」を支える「事象自信イメージ」が、被験者のそれぞれによって様々であり、お互いに大きな違いを持つことを示すものである。

2. 「自己自信イメージ」を支える「事象自信イメージ」

前回調査(第1報)では、「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」の相関係数を算出し、0.40以上の“かなり高い相関”を示す24事象の相互関係を求め、それら24事象が「自信イメージ」として、相互に関連を持ち合い総合して「自己自信イメージ」を支えている結果が得られた。

今回調査においても、同様にして、“かなり高い相関(0.40以上)”を示す事象として、全体(男女計)では19事象、男子では16事象、女子では9事象という結果が得られた。

しかし、今回調査における「自己自信イメージ」と「事象自信イメージ」の相互関係は、“かなり高い相関”を示す「事象」が前回結果に比べ少なく、また前回と一致する「事象」が、非常に少ない(全体では4事象、男子で7事象、女子ではわずか2事象)こともまた示された。

このことは、当然のことではあるが、対象者が変わることによって、「自己自信イメージ」を支える中核的な「事象自信イメージ」もまた変化することを意味している。

3. 「事象自信イメージ」の構造と、中核的な「事象自信イメージ」

「自己自信イメージ」と0.30以上の相関をもつ事象の「事象自信イメージ」は、“有意義な一定以上の相関”を示すものであるが、因子分析の結果(表4)から、男子を中心にすると考えると、各因子は次の内容を示すものと言える。

第1因子=能動的な対人影響力

第2因子=意識的能動的に形成した内面の強さ

第3因子=自覚された対異性魅力

第4因子=体力、運動能力

第5因子=観察的な状況判断力

第6因子=保持する知識

第7因子=受容的な対人関係能力

第8因子=前向きに対処できる特性

この各因子と「自己自信イメージ」との相関は、各因子の「自己自信イメージ」との関連の強さを示すものとして、「自己自信イメージ」に対する重要性をあらわす指標と考えられるが、結果は、男子では「能動的な対人影響力(第1因子)」と「自覚された対異性魅力(第3因子)」に対して、「自信」を持つことが「自己自信イメージ」を高めるのに重要であり、女子では「能動的な対人影響力(第1因子)」に対する「自信」は男子と同様に重要であるが、「意識的能動的に形成した内面の強さ(第2因子)」及び「観察的な状況判断力(第5因子)」が男子に比べより重要であることを示した。また、女子は男子に比べ、やや重要度は下がるように見えるが、「自覚された対異性魅力(第3因子)」が、男子と同様に重要であることも示されており、大学生時代の特徴がうかがえるものである。

これらの因子は、約0.50以上の相関を示すことから、「自己自信イメージ」を支える中核的な内容(事象)であると言える。

なお、「保持する知識(第6因子)」は男子に比べ女子では、かなり重要度が下がり、その反対に「受容的な対人関係能力」については女子の方が重要視されているということが出来る。「前向きに対処できる特性(第8因子)」および「体力・運動能力(第4因子)」は、男女ともにそれなりに重視されているが、そのウエイトはやや低い、と見る事が出来る。

【追記】

本研究において、データの一部は上杉の1992年度卒論指導学生であった井沢由美さんのデータをお借りした。記して感謝する次第である。